



じゃがいもずくん
「ききぼう」くん

平成30（2018）年9月に発生した北海道胆振東部地震では、最大震度7の地震を観測し、北海道全域で大規模停電（ブラックアウト）が発生しました。

胆振東部地震は9月に発生しましたが、真冬の厳寒期に長時間の停電となると、電気の必要な暖房器具等は使えなくなり、冬の寒さが厳しい地域では、室内にいても寒さによる低体温症や凍死のリスクがあります。

いつ停電が復旧するか分からない状況のため、いつでも暖をとれるよう今一度、家庭内の備蓄品などを確認しましょう。

電気を使わない防寒グッズ

停電時には、エアコン、電気ヒーター、コタツ、床暖房等は使えなくなります。電気を使わない暖房器具や防寒グッズが必要不可欠です。日頃から備えている災害時の非常持ち出し品以外にも停電時に役立つものとして以下のものを用意しておきましょう。

停電に備えて用意するもの

- カセットコンロ、ガスボンベ
- 湯たんぽ
- ガスのストーブ、石油ストーブ
- 防寒着、毛布
- 簡易トイレ
- 懐中電灯
- モバイルバッテリー
- 携帯ラジオ
- 生活用水
- 使い捨てカイロ



災害時には、情報収集や連絡手段、テレビやラジオに代わる情報源、ストレス解消のツールとしてスマートフォンを利用する機会は多くなることが予想されます。

現在は、モバイルバッテリーなどの普及により、長時間にわたって携帯を使用することが可能となっていますが、無駄なバッテリーの消費を抑えるため、災害時には以下のことに注意しましょう。

○スマホ画面（ディスプレイ）を暗くする。

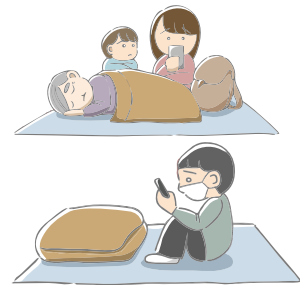
電池をもっとも消費するのはディスプレイです。画面の自動オフ（消灯）までの時間を短くすることも有効です。

○通信状態が悪くなったら「機内モード」に切り替える。

災害によっては、通信しづらい状況になる場合があります。スマホが電波を探すために電池を消費することになるので、通信機能をオフにする「機内モード」に切り替えることで電池の消費を抑えることができます。

○「低電力」や「省電力モード」を選択する。

また、電力復旧までに長時間を要する場合は、臨時的携帯充電用スペースが設けられる場合もありますので、災害時には、町公式FacebookやTwitterなどで情報配信しますので、ご確認ください。



中標津町公式SNS (Facebook、Twitter)

町公式アカウントでは、日ごろから町の各種情報をお伝えしていますが、災害時には、地震、吹雪、公共交通機関の運行状況など災害時に役立つ情報をお届けします。

町公式ホームページにアクセスし以下のアイコンをクリックするか、アプリ内で「中標津町」と検索！



詳しくは、総務課 防災係まで。